



約340名もが参加した大運動会!!

6年目となった田井小と北谷南部みつばコミュニティとの共催の運動会は、好天に恵まれ、約340名の参加を得、大盛況の内に終了しました。

年々、競技内容にも工夫がなされ、地域の方と子どもたちが一緒に競技する種目も増え、関わりがより一層強くなってきました。二つ紹介します。



【サプライズ綱引き：最強チームVS全校児童】

3地区対抗の綱引きで優勝した最強の椿澤チーム(12名)と全校児童(33名)の夢の対決が実現しました。「人数が多くても小学生だ。椿澤が勝つさ。」という大方の予想を覆し、児童チームが完勝でした。「児童チームが負けるだろうから、2回戦は学校職員が加わる予定でした」が、それは次年度以降に持ち越しとなりました。



「ハイ、どうぞ。」



拾え、拾え!!

【紅白玉入れ：子どもは投げちゃ駄目よ】

これまでも一緒に行ってきた玉入れですが、2回戦に増やし、さらには子どもたちが玉を地域の方に手渡し、それを4m離れた所から地域の方が投げるという方法で行いました。一生懸命玉を拾い手渡す子どもたちと、それを待つて籠めがけて投げる地域の方との微笑ましい光景が随所で見られました。

	赤	白
競技の部	438点	456点
応援の部	622点	645点

椿澤町	田井町	栃栄・三ヶ字
80点	40点	60点

『力いっぱいもえる赤白 みつばっ子』のスローガンの下、今年は白のダブル優勝で幕を閉じました。結果発表や閉会式では涙を流す子もおり、これまでの努力や運動会にかけてきた熱い思いが伝わってきました。

三地区の対抗戦では、椿澤チームが昨年度に続き2連覇を達成しました。綱引きでは、今年も見応えのある対戦ばかりで、間近で自分の地域を応援した子どもたちは歓喜の声をあげていました。

大勢の皆様から子どもたちへ温かいご声援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。そして、素晴らしい一日を保護者、地域の皆様と共有できましたことを心からうれしく思います。ありがとうございました。(校長 伊藤芳文)

みつばの森の整備(5月8日)

運動会に向けてのグラウンドのPTA親子除草と同時進行で行われました。途中からは児童も加わり、自分の木の周辺の草を取りました。また、バーク堆肥もまかれ、少しずつ森らしさを増してきました。

作業は予定通りに終了し、地域の大勢の皆さんのパワーと情熱を感じさせられる整備作業でした。



プール清掃(5月13日)

全校でプール清掃を行いました。

1・2年生はプールサイドの草や苔取りを、3・4年生はプールサイドの溝や入口等をきれいに、5・6年生はプール本体をピッカピカに磨き上げました。

間もなく梅雨の時期になりますが、すでに5月27日から課外水泳(4~6年)はスタートしました。



卒業生があいさつ運動に！(5月25日・26日・27日)



南中学校のあいさつ運動で、3日間、卒業生が朝、田井小学校に来てくれました。

小学生は照れくさそうに、中学生は懐かしそうにあいさつを交わしていました。中学校の校長先生からも、運動会のがんばりについて声をかけていただき、うれしそうな子どもたちでした。

南中学校区では、小中特が連携し、『ローメディア・ウィーク』や『合同学校保健委員会』等を実施します。小中特が連携することで、多くの家庭でより効果的に生活習慣の改善が図られることを期待しています。

“緑の少年団(3・4年生)”の活動がスタートしました(5月25日)



学校内では『緑の羽根の募金活動』を行いました。そして、校外では、第四銀行前とネーブルみつけ内で、募金をしてくださった人にブルーベリーの苗をプレゼントしました。

合わせて26,050円になりました。これらの募金は、市の建設課から緑化団体に届けられ、自然保護や緑化推進等に活用されます。

これらの活動を通し、さらに自然環境に関心をもち、自然を大切にすることを育てたいと思います。

全校で田植えをしました(5月27日)



5名の地域の皆様からご指導とご支援をいただき、学校田の田植えを行いました。

田に入り田植えをしたのは3~6年生でした。はじめは足をとられそうな子もいましたが、慣れたもので上手に30分ほどで植え終わりました。

1・2年生はその様子を近くで見ながら「がんばれー」と声をかけていました。

今から、秋の収穫が楽しみです。